

下呂温泉神社

下呂温泉神社の龍の彫像の口から湧き出る湯は下呂の数多くの湯場を満たす豊富な温泉を象徴しています。10 月 8 日にこの神社で開催される例祭は町の温泉とその歴史に敬意を表しています。お祭りの一環として参加者たちは白鷺の衣装や正式な武士の衣装など色とりどりの衣装を着て街頭に繰り出します。

何世紀も前、温泉の湧出が止まったとされた時に飛騨川に毎日飛来する 1 羽の白鷺によって下呂の繁栄は復活しました。好奇心旺盛な町人が調べに行き、白鷺が水浴びしていた新しい源泉を発見しました。白鷺は下呂でよく見られるモチーフであり、神社の伝統の中で祝われています。

神社は白鷺橋と飛騨川のすぐ近くにあります。下呂の名声を高めた豊富な温泉に感謝し下呂の町の末永い発展を祈願するため、1989 年に設立されました。山形県の御神湯を有する古社、湯殿山神社と提携しています。